



氏名 千葉 哲也

年齢 56

勤務先名称 玉川病院



氏名 林 弘康

年齢 59

勤務先名称 城山病院

立候補の趣旨

玉川病院に勤めております千葉です。森島会長の下、副会長をさせていただいておりました。副会長として東京都理学療法士協会並びに会長の活動を支援できたかという点、日々反省することばかりですが、これからも微力ながら協力させていただければと思っています。

現在、東京都理学療法士協会は他県士会に比べ最も会員数が多く、数々の活動が評価され日本理学療法士協会からも注目されております。これからも会員の皆様が誇れる都士会となるよう、努力させていただければと思いますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

立候補の趣旨

東京都理学療法士協会の理事に立候補させていただきました林です。現在まで、副会長、スポーツ局長として活動をさせて頂いております。来年に迫った2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、様々な事業を通してサポート体制の準備を進めております。この間、東京都や関係諸団体との協力体制を進めることができました。広く東京都民に向けたスポーツ支援活動を進めてきましたが、協会のブロック・支部活動が盛んになる中で協力して事業を進める中で、地域でのスポーツ活動支援がより進んだものと考えております。今後も、スポーツをキーワードとして地域生活における理学療法士の活動範囲の拡大を進めたいと思います。都士会は公益社団法人にふさわしい活動を進めてまいりましたが、さらに都民の生活や健康を守ることを念頭に置きながら、協会活動を意識していく必要があります。そのために引き続き働くことができればと考えております。



氏名 田代 文子

年齢 58

勤務先名称 清瀬リハビリテーション病院



氏名 森島 健

年齢 57

勤務先名称 東京衛生学園専門学校

立候補の趣旨

地域包括ケアシステム推進のため人材育成、東京都や自治体及び東京都介護予防推進支援センターとの情報交換や連携、リハビリテーション専門職三団体の連携推進に取り組んできました。各地の総合事業でリハ職の参加を希望される自治体や問い合わせも増えており、実際に活動するリハ職も確実に増えています。人材育成については、導入研修・フォローアップ研修の修了者を対象に、実際の地域事業の現場を視察するようより実践的な研修を考えていきたいと思っております。また、リハビリテーション専門職三団体の合同事業は、訪問リハビリテーション研修会、生活期の共通評価表作成、リハビリテーション合同フォーラム、地域リハビリテーション専門人材育成研修と徐々に増えてきており、連携も進みつつあります。前回立候補時に挙げた項目の中で、「各地域で活動されている訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション関係の連絡会等との情報交換や連携についてはあまり取り組めていませんでした。それを含め、今後も以下の項目について、都士会の中で継続して活動をしていきたいと考え立候補しました。ご支援よろしくお願い申し上げます。

- (1) 地域活動を担う理学療法士の人材育成
- (2) 各地域で活動されている訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション関係の連絡会等との情報交換や連携
- (3) リハビリテーション専門職三団体の連携推進
- (4) 地域活動に理学療法士が活動できるように支援していく

立候補の趣旨

私は、今回公益社団法人東京都理学療法士協会理事へ立候補させて頂きました森島健です。この4年間、私は、会長として東京都理学療法士協会の仕事を担当させて頂きました。理事及び会員の皆様のご協力のもと任務を全うすることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。その中で、私が力を注いだ業務は、市区町村単位での支部化設立に力を入れて頂きました。今後も、引き続き、この活動を継続し全ての市区町村での支部設立を目指していきたいと考えております。また、すでに設立しているところは、より一層の活動の充実を目指していければと考えております。そのために今回の理事選挙に立候補させていただきました。支部化の目的は単に「地域包括ケアシステムの構築に向けての組織作りの充実」のためだけでなく、「2020年にむけた東京オリンピック・パラリンピックに向けた様々な準備」（アスリート支援、選手発掘、環境調査及び整備など）、「防災を含めた災害対策」、「理学療法技術向上のための研修会開催」、「組織率向上」など現在協会が重点目標として掲げている全ての課題に対し重要な役割を持っていると考えています。支部化によりこれらの業務がスムーズに実施できると考えています。我々の協会は公益社団法人を取得しております。「全ては都民のために」をモットーとして業務に取り組んでいきたいと考えております。「市区町村単位での支部化設立」により「他団体との連携、協力の強化」も可能となります。医師会、看護協会、作業療法士会、言語聴覚士会など他の職能団体と協力、協働していくことで困難な目標も実現可能となると考えています。個の力が組織の力に、一つの組織の力が組織同士の協働した力となり、より大きな力が生まれ、その力が都民の健康への寄与となると考えています。以上が、理事立候補の趣意説明となります。よろしくお願い申し上げます。



氏名 池田 由美

年齢 51

勤務先名称 首都大学東京健康福祉学部



氏名 古川 順光

年齢 50

勤務先名称 首都大学東京健康福祉学部

立候補の趣旨

私は、この4期にわたり、(公社)東京都理学療法士協会の理事ならびに学術局長として、主に都士会員の皆さまの学術活動に携わって参りました。2020年は56年ぶりに東京の地でオリンピック・パラリンピックが開催されますが、約20年ぶりに改正される理学療法士作業療法士指定規則に基づいた養成がよいよ開始されます。2020年は我々理学療法士にとっても変化の年となります。

指定規則の改正では、昨今の医学の発展にともない理学療法の対象が拡大するなか、新たな教育内容の追加と必修化が行われ、臨床実習についても臨床実習指導者の要件や指導方法の変更などが行われる予定です。学内の教育では既にアクティブラーニングの導入が推奨されていますが、臨床実習においても現場型アクティブラーニングが実行されることが望まれます。それに伴い臨床実習指導者には今以上の指導力を求められる時代となると予想されます。

これまでの経験を活かしつつ、臨床実習指導者のスキルアップを含め都士会員の皆さまの臨床力・教育力・研究力の向上をバックアップできるような環境づくりをさらに進めていきたいと考え、このたび理事に立候補致しました。どうぞよろしくお願致します。

立候補の趣旨

理学療法士が誕生してから早くも50年が過ぎました。この間に理学療法士養成課程も変化し、現在では3年制の課程から4年制大学まで、260校余りで養成が行われ、大学院の課程も整備されてきました。このような養成課程の変化は時代の要請であり、量より質が問われる時代となっています。それ故に養成校における教育のみならず、就職後の生涯教育の重要性が一層高まっているといえます。日本理学療法士協会は平成24年度から新人教育プログラムを大きく変更し、認定・専門理学療法士の制度を整備し、生涯教育をより充実させ、さらに、数年のうちには大きな改訂が予定されています。私は、平成14年度より東京都理学療法士会の新人教育部員、平成22年度からは同新人教育部長として、また平成25年度からは東京都理学療法士協会の理事として、理学療法士の生涯教育のスタートである新人教育に関わって参りました。今後もこれまでの活動経験を活かし、会員の皆様が生涯教育のお力添えをすることを通して、都民の皆様が還元していくことができればと考え、このたび東京都理学療法士協会理事に立候補いたしました。よろしくお願いたします。



氏名 中澤 幹夫

年齢 49

勤務先名称 多摩丘陵病院



氏名 板倉 尚子

年齢 55

勤務先名称 日本女子体育大学健康管理センター

立候補の趣旨

今期、私は都士会の理事、地域活性局局长を務めさせて頂き、都士会のブロック活動の活性化や区市町村支部の発足などに取り組んできました。今後、地域包括ケアシステムの構築に向け、市区町村単位での活動がますます必要になってくると思われ、発足した区市町村支部の活動の活性化を、会員のご協力を得ながら、行いたいと思ひ継続して理事に立候補しました。よろしくお願致します。

立候補の趣旨

この度、東京都理学療法士協会理事に立候補しました板倉尚子です。現在、スポーツ局長として活動しております。スポーツ局ではスポーツと理学療法士の接点をつくる事業展開しています。スポーツ現場で安全・適切な対応をするための実践研修会や技能テストを開催し、競技団体主催大会や地域のスポーツイベントへ都士会員を派遣しています。今後は理学療法をスポーツ現場で効果的に実践できる理学療法士を養成・派遣するために、ブロック部・支部と連携しスポーツ事業を展開していきます。この事業により質の高いスポーツ理学療法を現場に提供し、東京都民の方々が安心・安全なスポーツ活動を行うための環境づくりを推進します。さらに、来年には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。全国の士会と連携し、世界・地域から訪日する選手、役員、観客の方々に「日本に来てよかった」と思われるように理学療法サービスを充実させたく存じます。オリンピック・パラリンピックでのあらゆる経験と知恵をスポーツ理学療法への全ての対象者に注ぎ込むために、そして、子どもたちの健やかな未来のために活動を繋げる所存です。



氏名 南雲 健吾

年齢 46

勤務先名称 リハビリ企画 (同)



氏名 山手 千里

年齢 43

勤務先名称 東京衛生学園専門学校

立候補の趣旨

引き続き東京都理学療法士協会の理事として活動をさせていただきたく立候補いたしました。

2014年より担当しております生活期共通評価表作成委員会においては東京都作業療法士会ならびに東京都言語聴覚士会との緊密なる協働作業により、訪問ならびに通所評価表の改定に加え新たに難病評価表を発行することができました。

また任期中には福祉保健局長に着任させていただき、小児から高齢者、障害者、難病患者、精神疾患など幅広い理学療法の分野の活動に携わらせていただきました。特にフレイル、認知症、人生会議(ACP:人生の最終段階における医療ケア)の東京都発行リーフレットの作成に関与させていただいたことは公益社団法人の一員として都民に利益を還元することに繋がったと感じているところです。

今年の6月23日には惜越ながら大会長として「スポーツと理学療法～オリンピック・パラリンピックへの道～」をテーマに東京都理学療法学会大会を開催させていただきます。

厳しい名称使用制限のある国際競技大会において東京2020応援プログラムの認定を取得させていただいたことは、理学療法とスポーツとの結びつきをより強固なものにできたのではないかと自負しているところでございます。

いままでも我が国は超高齢超少子社会と人口減という幾重もの課題を抱えており、地域包括ケアシステムの深化における私たち理学療法士の役割は益々期待されることでもあります。特に第8期(2021～2023)の介護報酬改定に向けて職能団体として様々な取り組みを行っていく必要がございます。特に地域共生社会の構築はリハビリテーションの基本理念であるノーマライゼーションに通じるものがあり、その実現に向けて邁進することが我々の努めであると確信しております。

このことを達成するためにも、これからも継続して理事としての役割を担わせていただき皆様のご支援を賜りますれば幸いに存じます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

立候補の趣旨

今回、公益社団法人東京都理学療法士協会理事へ立候補させていただくことになりました。山手千里です。

私は、2015年から理事へ着任させていただいております。

2016年から学術局次長に着任し、研修部部長として研修部部長とともに理学療法士講習会の開催等を担当しております。

年間20本程度の講習会を開催し、多くの会員の皆様にご参加いただいております。今後、以下の課題を挙げさせていただきます。

1. 講習会開催について、これまでの技術系のテーマに加え、基礎系のテーマを増やすことで、幅広い会員の皆様にご参加いただける講習会を開催する。
2. 理学療法士の知識・技術向上のため、日本理学療法士協会も推奨しているテーマである、以下の内容に関する講習会を開催する。
 - ① 予防・健康増進に資するもの(生活習慣病予防、転倒予防、腰痛予防)
 - ② 急性期病棟に関するもの(ICU/CCU、地域包括ケア病棟、ADL維持向上、廃用/転倒転落予防)
 - ③ 慢性期(生活期)に関するもの(通所/訪問/在宅、地域理学療法・リハビリテーション)
 - ④ 管理者育成に関するもの

今後より一層、理学療法士の学びの場を広く提供できるよう、努めてまいりたいと考えております。多くの会員の皆様にご参加いただける講習会を開催することで、理学療法士の知識・技術の向上に繋がります。その結果都民の皆様が安心して過ごせる環境を少しでも提供できることになると信じております。

以上が理事立候補趣旨となります。よろしくお願致します。



氏名 豊田 輝

年齢 43

勤務先名称 帝京科学大学



氏名 石塚 佳久

年齢 42

勤務先名称 田無病院

立候補の趣旨

この度、本会の理事に立候補致します。豊田輝(トヨタアキラ)と申します。

私は、これまで本会では理事として、また、事務局長、公開講座準備委員長として、定款に基づき皆様のご協力を賜わりながら、理学療法の発展と都民の健康と福祉の向上のために務めて参りました。この活動の中で、日々痛感していることがございます。それは我々、理学療法士の置かれている社会的な立場は、「決して明るなものではない」ということです。現在、「地域包括ケアシステムの構築」など新しい理学療法士の職域になり得る分野において、都内の一部の自治体からは理学療法士の専門性に期待し、介護予防事業における委託や各種委員の推薦依頼などをいただいております。しかしながら、この依頼は限られた地域に留まり、依頼件数も決して多くありません。つまり、地域社会から我々、理学療法士の専門性を十分に理解されているとは言えない状況にあると考えます。だからこそ、我々、理学療法士にしかできない専門性を発揮することで今後の地域社会の発展につながることを考えます。私は、本会会員の皆様が理学療法士の専門家として学際的に職能的に結果し、明確なエビデンスに基づく活動を展開することで都民の健康と福祉に寄与でき、結果として「理学療法の発展」に繋がると考えます。

これまで我々、理学療法士は、医療機関等で日々、臍々と目の患者様のために熱意を持って成果を上げてきました。これは、今後も絶対条件として、確実に維持していく必要があります。しかしながら、それだけでは、これからの地域社会において、我々の専門性は十分に活かされません。今こそ、我々、理学療法士自身が自らの専門性を地域社会に還元するために、何が必要かと自問し、行動する時だと考えます。そこで私は、以下の3点を重点目標に掲げ、引き続き、理事として活動をさせていただきます。

- ① 理学療法士の専門性を都民に直接還元する自治体の支援
- ② 「地域包括ケアシステムの構築」に向けた自治体や関係団体との渉外活動
- ③ 本会の全ての活動を支える事務局機能強化

今後とも、理学療法士の発展のために全力を尽くす所存でございます。引き続き、会員の皆様のご理解とご協力ならびにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

立候補の趣旨

【はじめに】

平成11年(1999年)東京都理学療法士会(現:東京都理学療法士協会)に入会し、本年4月で満20年を迎えます。理学療法士の“成人”として、理学療法士協会の担い手となるべく、このたび理事に立候補致します。

【都士会へのかかわり】

協会への参加として、入会時より、各種イベントお手伝いのかかわりと、年に1回以上総会に参加してまいりました。協会の20年の変化を体験しております。現在、北多摩ブロック部部長、高齢者福祉部部長、西東京支部副支部長、地域包括ケアシステム推進委員会委員、三土会訪問リハビリテーション実務者研修会委員として活動しております。

【職歴】

平成11年より西東京市にある医療法人に勤務。法人に関連施設多種あり、一般病棟、療養病棟、介護老人保健施設、訪問リハビリテーション、回復期リハビリテーション病棟、デイサービス、地域包括ケア病床の理学療法業務を経験しております。ほか、自治体の事業にも関わりがあります。

【趣旨】

◇国家資格は、その資格を持つものが磨いていく必要があると学びました。社会構造の変化、制度の変化に伴い、国家資格の役割が常に問われ続けていると思います。国家資格を磨く働きとなるべく、東京都理学療法士協会の活動を行います。

◇勤務地の北多摩ブロック内に所属する理事が少なくなるため、地域代表という自覚があります。住所も都内のため、昼夜を問わず、東京都への貢献を意識しております。

◇ただ、具体的なビジョンはありませんので、数多くいる若く優秀な会員の理想を具体化することが、私にできる、未来につながる活動かと思っております。



氏名 池田 淳子

年齢 43

勤務先名称 東京総合保健福祉センター江古田の森



氏名 齋藤 弘

年齢 40

勤務先名称 辻内科循環器科歯科クリニック

立候補の趣旨

この度、東京都理学療法士協会次期理事に立候補致します。池田淳子と申します。前回ご推薦して頂き、理事、介護保険部長として一期を終えようとしております。特に私自身、長年介護保険施設で勤務していることもあり、理学療法士が高齢者福祉で活躍できるよう、主に研修企画をして参りました。今まであまり企画されていなかった福祉用具や住宅改修に関する研修を開催した時は、多くの福祉用具に触れ、身近に感じて頂ける機会でした。また、ケアマネジャーさんをお呼びして私たちと一緒に自立支援について考える研修も好評頂きました。一方地域包括ケアシステムの推進が急務の中、私たち理学療法士の求められる役割は従来のみではありません。高齢社会時代のニーズに応じて変化しています。そこでどのような知識や技術を身につけるべきか、それだけではない、人間性、コミュニケーション能力も必要です。私も見聞を深めているところではありますが、8000人規模の会員の皆様に情報発信をすることの難しさや課題があるのも事実だと感じております。もし、次期も理事になることができましたならば、アンケート等で寄せられる会員の皆様の声を協会運営に反映するとともに、多くの皆様が日々の業務に役立てられるような情報や研修を発信できるよう、邁進致します。ならびに協会全体の運営においても、諸先輩方や会員の皆様のご指導を賜りながら、貢献できるよう努力する所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。

立候補の趣旨

私は、当会会員として約10年間、臨床現場を中心に勤務しております。理事としての1期目は、おもに渉外局次長・エスカレーターマナーアップ推進委員会委員長として活動させていただきました。ほかにも、リオオリンピックへの視察派遣や、支部化推進など、近年の当会の事業として重要な項目について主体的に取り組んでまいりました。特にこの2年間では、当会によるソーシャルアクション「エスカレーター 止まって降りたい人がいる」において、エスカレーターマナーアップ推進委員会を中心に企業・団体等と連携し、『誰もが使いやすい・外出しやすい環境（街）づくりに寄与すべく発信をしてまいりました。引き続き、理事として会員の皆様の声をすくい上げるとともに、理学療法士が都民に対してより身近で、かつ理学療法士ならではの発信・活動をしてまいりたいと思います。



氏名 岡安 健

年齢 47

勤務先名称 東京医科歯科大学医学部附属病院

立候補の趣旨

協会活動歴
 2002年 東京都理学療法士協会 総務部員
 2016年 東京都理学療法士協会 ライフサポート部長（現職）
 日本理学療法士協会 代議員（現職）
 2017年 東京都理学療法士協会 代議員（現職）
 2018年 東京都理学療法士協会 総務部長（現職）

私は2016年より東京都理学療法士協会ライフサポート部長、日本理学療法士協会東京都選出代議員、2017年より総務部長、文京区支部長として協会活動に従事してまいりました。政府による働き方改革の実施が迫る中、協会会員の皆さまにおかれましては、より良いワークライフバランスの構築がなされることが重要と考えております。私は協会活動を通じて会員の皆様の福利厚生や生活の質向上がなされるようなお手伝いをさせていただきたいと考えております。

なお、監事への立候補者はいませんでした。